

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Treatment of uveal melanoma metastatic to the liver: a review of the M. D. Anderson Cancer Center experience and prognostic factors.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	CQ18-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	76	
	号	9	
	ページ		
	ISSN ナンバー	0008-543X (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2)	
	発行年月	1995	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Bedikian AY,	University of Texas M.D. Anderson Cancer Center, Houston 77030, USA.
その他著者 1		Legha SS,	
その他著者 2		Mavligit G,	
その他著者 3		Carrasco CH,	
その他著者 4		Khorana S,	
その他著者 5		Plager C, et al.	
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	肝臓転移を起こした眼球悪性黒色腫の予後因子
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	MD Anderson。 23 年間 201 例の肝転移眼球悪性黒色腫の予後因子の検索。全身化学療法は RR1%以下。塞栓化学療法は 36%。多変量解析では血清アルカリフォスファターゼと転移のなかった期間。
	結論	眼球悪性黒色腫の肝転移の治療としては CDDP を中心とした化学塞栓療法のみが奏効率の意義ある改善を供する
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV ) 多数例について解析した重要な論文である。必ず目を通す必要がある。